

2024年6月21日（金）

## カーボン・オフセットにより電力・熱由来のCO2排出量を実質ゼロ化 「さっぽろ創世スクエア」エネルギーの脱炭素化を実現

北海道テレビ放送株式会社（社長：寺内達郎）が組合員として加盟している さっぽろ創世スクエア管理組合（理事長：天野 周治）（※1）と北海道ガス株式会社（社長：川村智郷）および株式会社北海道熱供給公社（社長：近藤清隆）は、さっぽろ創世スクエアで使用する電力・熱について、カーボン・オフセットすることで合意しました。同施設は 2024 年 7 月 1 日より使用する電力・熱の CO2 排出量を実質ゼロとなります。

なお、カーボン・オフセットした熱供給を実施するのは「北海道初」となります。

本取り組みでは、カーボンニュートラル天然ガス（※2）を用いて、創世エネルギーセンター（さっぽろ創世スクエア地下 4 階）の天然ガスコージェネレーションシステム（700kW×2 台、以下：CGS）が建物内に電力を供給。同時に発生した発電排熱やボイラーで建物内への冷温熱供給を行います。また、CGS による発電量では不足する電力は、非化石証書（再生可能エネルギー由来）を活用した電気によって補います。

一連のスキームを構築することで HTB 本社施設を含む、さっぽろ創世スクエアで使用する電力・熱の全量について、CO2 排出量実質ゼロを実現します。（さっぽろ創世スクエア全体の CO2 排出削減量：約 9,200 トン/年）

2022 年、環境省に採択された札幌市「脱炭素先行地域」の全体像では、都心部民間施設において、省エネ・再エネ、エネルギーネットワークの整備・拡充、熱供給へのカーボンニュートラル天然ガス導入などにより脱炭素化に向けた取り組みを進めるとしています。

本取り組みを通じて、さっぽろ創世スクエアが「環境性・レジリエンス性」に優れた都心の拠点として、「豊かな暮らしと新たな価値を創る、持続可能な世界都市・さっぽろ」の実現により一層に貢献できるよう、そして SDGs が目指す持続可能な社会の実現に向けて、官民一体となって取り組んでまいります。

※1：さっぽろ創世スクエア管理組合 組合員（8 社）：札幌市、明治安田生命保険相互会社、パーク 24 株式会社、北海道テレビ放送株式会社、株式会社札幌振興公社、株式会社朝日新聞社、東日本電信電話株式会社、株式会社北海道熱供給公社

統括管理会社：大成有楽不動産株式会社

※2：カーボンニュートラル天然ガス：天然ガスの採掘から最終消費に至るまでの工程で発生する CO2 を、森林保全等で削減・吸収した CO2 と相殺した、CO2 排出量実質ゼロの天然ガス

（発行元）社長室

